

創設が検討されている 「専門職業大学・専門職大学（仮称）※」

高校教員の認知は65%

課題は、専門学校との違いの明確化

—高校の進路指導・キャリア教育に関する調査2016 専門職業大学・専門職大学編—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口 文洋）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校の進路指導・キャリア教育の現状を明らかにするため、全国の全日制高校の進路指導主事に対して進路指導の困難度、キャリア教育の進捗状況等についての調査を実施いたしました。調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

参考資料：<https://prtimes.jp/a/?f=d10032-20170213-4388.pdf>

専門職業大学・専門職大学（仮称）について

■ 高校教員の64.6%が専門職業大学・専門職大学（仮称）※を認知。うち、20.9%が名前、内容ともに認知している。

→参考資料 P3

■ 創設による成果が期待できると考える教員は33.6%。

最も多いのは「どちらともいえない」47.6%。→参考資料 P4

■ 期待できる点のトップは

「実践的な教育内容で技術が身につくそう」（41.1%）

→参考資料 P5

■ 懸念される点のトップは

「現状の専門学校との違いがわからない」（52.2%）→参考資料 P6

※専門職業大学・専門職大学（いずれも仮称）

企業で即戦力となる人材の養成を目指して、中央教育審議会の特別部会により創設が検討されている、職業教育に特化した新たな高等教育機関。専任教員の4割以上を企業などでの勤務経験が5年以上ある「実務家教員」とすることで、卒業単位の3～4割以上を実習科目にし、企業での実習（4年制なら600時間以上）も義務づける。

卒業要件は大学・短期大学と同水準で、修業年限は2～4年、「学士」「短期大学士」相当の学位を授与することなどが適当とした。文科省は2019年度の開設を目指して必要な法改正をする方針。

■ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査2016」リクルート進学総研調べ”と明記ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>